

『医療・保健・福祉・市民の交流の場』

大村市在宅ケアセミナーだより

第129号 平成28年11月 発行元：〒856-0820 長崎県大村市協和町779
(一社)大村市医師会大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL：0957-54-0151

ホームページ：<http://www.nagasaki.med.or.jp/oomura/caresemi/index.html>

平成28年度メインテーマ『地域医療、介護の将来を見据えて』～支援の輪を広げよう～

第145回 大村市在宅ケアセミナーご案内

日時 平成28年11月17日(木) 18:45～20:30

場所 長崎医療センター 地域医療研修センター

内容 『いのちを受け止める町づくり



～在宅ホスピスの現場から～ 』

医療法人 このさかクリニック (福岡市)

院長 二ノ坂 保喜 先生

共催：小野薬品工業(株)

※ アンサーパッドを使用したセミナーとなっております。(終了後、回収します。)

※ 駐車券は受付にてご提示して下さい。



～～～1月のセミナー予告～～～

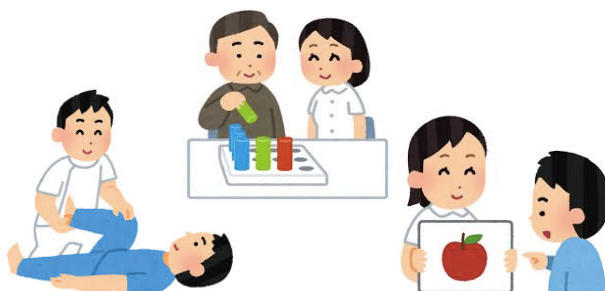
日時：1月19日(木) 18:45～20:00

場所：大村市医師会館 講堂

内容：『今更聞けない、PT・OT・STの役割』

※終了後、(20:00頃から)

大村市在宅ケアセミナー新年会となっております。



第 143 回 大村市在宅ケアセミナー 開催報告

日時 平成28年9月15日(木) 18:45 ~ 20:30

場所 大村市コミュニティセンター大会議室

内容 『 命のケアを模索する 』

NPO 法人 ウエスレヤン・コミュニティカレッジ

理事長 内村 公義 先生

参加人数 131名(内、当日入会34名)



大村市在宅ケアセミナー 感想/質問・回答



- 人生について最期になって振り返る機会でもあり、亡くなると感じた時に「私の人生は幸せだった」等思うのだろうと考えました。生と死は一对となり、生があり、死もある。マイナスイメージ等の言葉を使うよりは人生の最終点でどう最期迄生きていくかが重要だと思いました。ありがとうございました。
- 終末期の方に対する対応が変わりました。その人その人の命の道を傾聴し出来る限り一緒に歩いて行けたらよいと思いました。
- 生と死のはざまにいる人への声掛けは大変難しくいつも悩むところですが今回のセミナーで、ただ側にいる事しかできなかったけれどもそれでも、良かったのだとわかりました。
- これからの在宅ケアにとっても大きなメッセージを頂きました。グリーフケアの中から地域に残してくれたメッセージをまとめて、また生かしてもらいたいと思いました。
- “死”について改めて考える機会になりました。誰もが迎えることなのに自分の中でも少しマイナスのイメージがあるように感じます。なかなか実際に死に直面したことがないので、いざ死の場面に直面した時に何ができるのか分かりませんが自身の中でもいのちのケアへの転換ができるといいなと思いました。
- 人生について最期になって振り返る機会でもあり、亡くなると感じた時に「私の人生は幸せだった」等思うのだろうと考えました。生と死は一对となり、生があり、死もある。マイナスイメージ等の言葉を使うよりは人生の最終点でどう最期迄生きていくかが重要だと思いました。ありがとうございました。
- 多死社会となり以前より看取ることが多くなりました。看取ることについて考えることが多くなった中で、今後のケアの参考になりました。ありがとうございました。
- 高齢の患者様から、人の世話になる位なら死んだ方がマシ等とよく話されます。話を傾聴しつつ居るだけでいいことを伝えていけたらと思います。貴重な講演ありがとうございました。
- 先月、末期ガンの父を在宅で看取りました。何も出来ずに側にいることだけしか出来なかったことに悔んでいましたが、今日の先生のお話を聞いてあれで良かったのかと思えるようになりました。とても良いお話が聞けたことに感謝いたします。ありがとうございました。

※内村先生から頂いた、質問への回答は別紙へ記載しております。

年会費の納金を忘れずにお願いします

セミナー受講の際は、受付で必ず提示を お願いいたします。

(平成27年度会員381名)

※ホームページにてセミナー便りを掲載しています。

便りの郵送不要の方は、ご連絡ください。

